

おいしく、北海道らしく。



第75期

事業のご報告

平成20年4月1日～平成21年3月31日



日糧製パン株式会社

経営理念

Mission ミッション（果たすべき使命・役割）

いつも安心できるおいしさと信頼感で
人と環境にやさしい企業

Vision ビジョン（達成すべき企業像）

北海道の活性化に貢献する
“真の北海道企業”への成長

Domain ドメイン（事業の領域）

良質なパン・菓子を中心とした食関連事業

目 次

- 3 株主の皆さまへ
- 4 営業の概況
- 6 連結財務諸表
- 8 業績ハイライト（連結）
- 9 株式の状況、会社の概要
- 10 トピックス
- 12 株主メモ



株主・投資家の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援・ご鞭撻を頂き心より厚く御礼申し上げます。第75期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）における事業のご報告をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当期は、上半期では前期より続いた原油価格や穀物価格の高止まりの影響で生活必需品の価格が上昇し、また下半期には世界的な金融不安の影響が実体経済へ広がり、お客様の生活防衛意識と品質の良いものをより安くという志向が強まり、これまでに経験のない厳しい経営環境となりました。

このような状況の中、日糧製パングループは「市場適合」と「変革」をキーワードとした第2次中期経営計画に基づく施策を実践し、品質保証体制の強化、お客様の志向に対応した商品の提供を進め、売上高の確保に努めてまいりました。また原材料価格の上昇へ対応するため、一部製品の価格改定を実施し、同時に社内のあらゆる業務における効率化や合理化を進めてまいりました。しかしながら、昨年秋の原材料価格の上昇についてはお客様への影響を考慮し製品の価格改定を見送った事も影響し、当連結会計年度の業績につきましては、売上高17,828百万円（前連結会計年度比1.5%増）、経常利益236百万円（同22.6%減）と増収減益となりました。当期純利益は119百万円（同34.8%減）となりました。

当社グループは、「いつも安心できるおいしさと信頼感で人と環境にやさしい企業」の経営理念のもと、「良質なパン・菓子を中心とした食関連事業」を通じて「北海道の活性化に貢献する“真の北海道企業”への成長」を目指すことをビジョンに据え、北海道生まれの企業として『北海道をお薦めする』商品創りを行い、経営課題の解決に努力するとともに、安全性の確保や環境への配慮など食品企業に求められる役割や使命を果たし、企業価値向上に努めてまいります。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成21年6月

代表取締役社長

吉田 勝彦

◆当期の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、上期は比較的堅調に推移してまいりましたが、下期に入り世界的な金融不安の影響を受け、雇用情勢の悪化や消費マインドが低迷するなど急激な景気後退局面を迎えました。また北海道では、依然として全国平均を下回る雇用や所得水準が続きました。

当業界におきましては、前期から引き続き主要原材料である小麦粉をはじめ油脂類、乳製品、包装資材、燃料費や物流費などが上昇し、収益を圧迫する状況でありました。同時に雇用情勢の悪化や個人所得の減少など将来の不安を背景に消費者の生活防衛意識や節約志向が高まるなど、厳しい環境となりました。

このような経営環境のもと当社グループは、第2次中期経営計画に基づく施策を実践し、安定的な収益確保を目指してまいりました。また平成20年度より適用が開始された金融商品取引法上の「内部統制報告制度」へ適切に対応するとともに、コンプライアンス体制や統制環境などの整備に努めてまいりました。品質保証体制への取組みといたしましては、AIB (American Institute of Baking) の食品安全統合基準に基づく管理を全工場に継続し異物混入防止対策と食品安全衛生管理を強化するとともに、ISO9001の品質マネジメントシステムを取り入れ、充実を図ってまいりました。

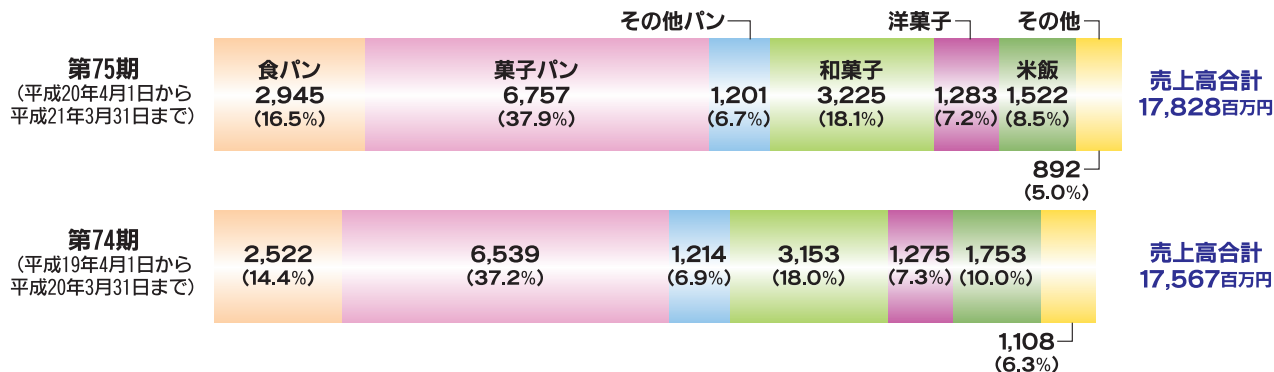
商品戦略といたしましては、食パン『絹艶(きぬつや)』のブランド維持、「ふっくらもちうま」の新発売などにより食パンのシェアを維持・拡大、また菓子パン・和洋菓子につきましては、

安定した品質と値ごろ感や多様な食シーンへ対応しさまざまなニーズを満足する商品群を強化してまいりました。

収益向上への取組みといたしましては、生産工程におけるさまざまなロスを低減する活動を更に進めるとともに、配送物流部門をはじめあらゆる部門と業務において改善活動を深化・継続し、効率化や合理化を進めてまいりました。輸入小麦の政府売渡価格が平成20年4月に30%引上げられたことに伴い主要原材料である小麦粉価格が値上げされ、加えて諸原材料価格の上昇が続きました。当社ではさまざまな効率化や合理化に取組むとともに、顧客価値にあった価格設定や品質改善、商品開発を進めておりますが、企業努力のみではこれらのコスト上昇の吸収は極めて困難なため、平成20年5月および6月に一部製品の価格改定と規格変更を実施いたしました。しかしながら、平成20年10月の輸入小麦価格改定分については、消費者の家計への影響を考慮し販売価格の改定は行わず、新たな商品提案や品質の見直しを行うなどで販売数量の確保に努めてまいりました。

なお、過年度の不採算部門からの撤退に伴う繰越損失(平成21年3月末現在1,145百万円)があるため、配当金につきましては、誠に遺憾ではございますが、当期も引き続き無配とさせていただきます。当面は、収益の改善を最大課題として取組み、財務体質および経営基盤の強化を図り、早期復配を目指してまいります。

◆販売実績(売上高・構成比)



(単位：百万円)

※その他パンとは、主にサンドイッチ・調理パン類であります。

◆部門別売上状況

●パン部門 売上高10,904百万円（前年同期比6.1%増）

当社のトップブランドである食パン『絹艶（きぬつや）』は、原料高騰の中でも本格食パンとして安定した品質で変わらないおいしさを提供し、ブランドの維持向上に注力いたしました。またプライベートブランドなど低価格帯の食パンが生活防衛型の消費志向にマッチした事もあり、食パン売上高は前年を大きく上回りました。

菓子パンにつきましては、「ラブラブサンド」シリーズの積極的な展開のほか、「北の国のベーカリー」シリーズのリニューアル、さらに北海道素材を活用した商品の発売など、消費者のニーズに合った商品を展開し前年を上回りました。

その他パン（調理パン類）におきましては、既存商品のリニューアルなどを行いました。

パン部門全体といたしましては、食パンが寄与し、前年を上回る結果となりました。



●菓子部門 売上高4,509百万円（前年同期比1.8%増）

和菓子におきましては大福、どら焼き類の売上が伸張しました。洋菓子におきましては、スナックケーキが好調に推移し、菓子部門全体では前年を上回る結果となりました。



道産米粉のふんわりカスター



おつまみもち

●米飯部門 売上高1,522百万円（前年同期比13.2%減）

新たな納入先の開拓やコンビニエンスストア向けの商品開発に注力いたしましたが、連結子会社である株式会社ノースデリカの函館工場を閉鎖したことも影響し、前年を下回る結果となりました。

◆次期の見通し

今後の見通しといたしましては、景気回復には暫くの時間を要すると考えられ、先行きに対する不安から、生活防衛や節約志向が高まり個人消費については低迷が予想されます。当業界におきましては、諸原材料価格の見通しが不透明であることや流通業界の再編、消費者ニーズの多様化に伴い販売競争はさらに激化するなど、経営環境は依然として厳しい状況であります。

このような状況に対し、当社グループは、第2次中期経営計画の基本方針である「市場適合」と「変革」を実践していくことが企業存続のための必須条件であるとの認識のもと、当面の課題である繰越損失の解消を目指し、安定的な収益確保のための施策を推進してまいります。

輸入小麦の政府売渡価格が平成21年4月から引き下げられた事に伴い、消費者への還元策といたしまして、一部製品の値下げを実施しております。また安定した品質への改善を継続するとともに、消費者にとって価値のある商品と北海道原料を生か

した商品開発を推し進めてまいります。そのために、あらゆる部門において、業務の効率化を進めて生産性を向上し、コストの低減へとつなげていきます。品質保証体制としては、AIB基準に基づく管理を全工場において継続するとともに、ISO9001の品質マネジメントシステムを取入れてより強固な体制とすべく強化を図ってまいります。

また、取締役会において決議した内部統制システムの構築に関する基本方針に基づき、コンプライアンス体制や統制環境などの整備、リスクの評価および管理を適切に行ってまいります。

平成22年3月期の連結業績見通しに関しては、売上高18,000百万円、営業利益300百万円、経常利益250百万円、当期純利益150百万円、また単体業績に関しては、売上高18,000百万円、営業利益300百万円、経常利益250百万円、当期純利益150百万円を予想しております。

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科目	期別	第75期 (平成21年3月31日現在)	第74期 (平成20年3月31日現在)
資産の部			
流動資産		3,853,172	4,371,521
現金及び預金		1,302,711	1,655,902
受取手形及び売掛金		1,959,897	2,017,764
たな卸資産		380,363	384,420
繰延税金資産		135,116	227,979
その他		75,081	85,454
固定資産		8,626,766	8,687,075
有形固定資産		7,995,444	7,963,026
無形固定資産		51,832	15,669
投資その他の資産		579,489	708,379
投資有価証券		425,386	629,112
繰延税金資産		87,464	-
その他		66,638	79,267
資産合計		12,479,938	13,058,597

科目	期別	第75期 (平成21年3月31日現在)	第74期 (平成20年3月31日現在)
負債の部			
流動負債		5,772,999	6,059,027
支払手形及び買掛金		2,257,618	2,230,710
短期借入金		1,650,000	1,750,000
1年内返済予定の長期借入金		790,550	878,400
その他		1,074,830	1,199,916
固定負債		4,454,296	4,768,865
長期借入金		1,291,850	1,382,400
再評価に係る繰延税金負債		1,609,231	1,609,231
退職給付引当金		1,524,719	1,588,890
その他		28,495	188,343
負債合計		10,227,295	10,827,893
純資産の部			
株主資本		△101,132	△219,470
資本金		1,051,974	1,051,974
利益剰余金		△1,145,729	△1,264,941
自己株式		△7,377	△6,503
評価・換算差額等		2,353,774	2,450,175
純資産合計		2,252,642	2,230,704
負債純資産合計		12,479,938	13,058,597

■ 資産、負債及び純資産の状況

資産の部におきましては、借入金の返済を進めた関係などから、現金及び預金が353百万円減少しております。

また、投資有価証券の減少は時価評価の影響によるものであります。

負債の部におきましては、引続き借入金の返済を進めた結果、短期・長期をあわせて278百万円減少しております。

■ 連結損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	期別	第75期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	第74期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高		17,828,252	17,567,253
売上原価		13,945,233	13,598,004
売上総利益		3,883,019	3,969,249
販売費及び一般管理費		3,607,666	3,617,729
営業利益		275,353	351,520
営業外収益		41,827	37,820
営業外費用		80,295	83,440
経常利益		236,884	305,899
特別利益		26,464	23,490
特別損失		103,693	201,056
税金等調整前当期純利益		159,656	128,333
法人税、住民税及び事業税		14,439	14,252
法人税等調整額		26,005	△68,837
当期純利益		119,212	182,918

■ 第75期 連結損益計算書のポイント

売上総利益

第1四半期での販売数量の増加などにより、売上高は前年より増加しましたが、小麦粉を始めとした原材料単価の上昇の影響が大きく、連結の売上総利益は、3,883百万円(前年同期比86百万円減)となりました。

販売費及び一般管理費

広告宣伝費の一部見直しなど、コストの低減を図ったことで、当期の販売費及び一般管理費は、3,607百万円(前年同期比10百万円減)となりました。

特別損失

投資有価証券評価損(53百万円)の計上等により、当期の特別損失は、103百万円となりました。

なお、前年同期には、連結子会社(株式会社ノースデリカ)の固定資産に係る減損処理を行い、特別損失(117百万円)を計上しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科目	期別	第75期	第74期
		（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）	（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）
営業活動による キャッシュ・フロー		545,913	874,483
投資活動による キャッシュ・フロー		△619,831	△534,128
財務活動による キャッシュ・フロー		△279,273	△350,016
現金及び現金同等物の 増減額		△353,191	△9,662
現金及び現金同等物の 期首残高		1,655,902	1,665,564
現金及び現金同等物の 期末残高		1,302,711	1,655,902

■ 第75期 連結キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは545百万円の増加となりました。原材料等のコストが上昇する中、第2四半期連結累計期間においては計画に沿った収益が確保できましたが、第3四半期連結会計期間以降において収益が足踏みしたことにより、前年同期比では328百万円減少しております。

投資活動によるキャッシュ・フロー

主に設備投資による支出にて、619百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

主に借入金の返済により、279百万円の減少となりました。

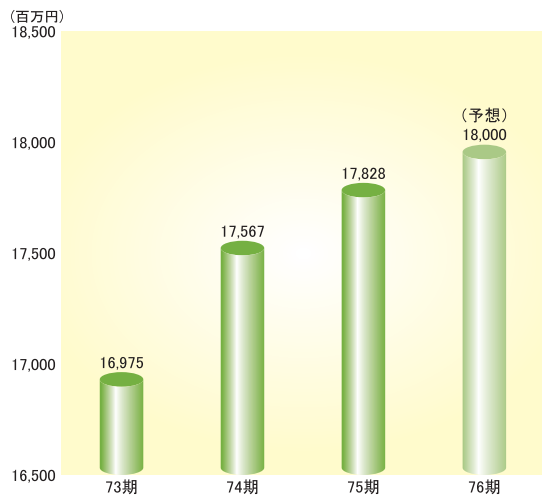
■ 連結株主資本等変動計算書（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）

（単位：千円）

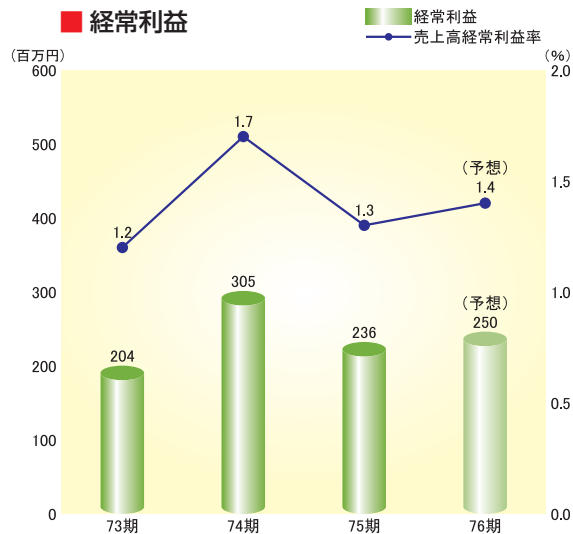
	株 主 資 本				評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
平成20年3月31日残高	1,051,974	△1,264,941	△6,503	△219,470	104,359	2,345,816	2,450,175	2,230,704
連結会計年度中の 変 動								
当期純利益	—	119,212	—	119,212	—	—	—	119,212
自己株式の取得	—	—	△873	△873	—	—	—	△873
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の 変動額（純額）	—	—	—	—	△96,400	—	△96,400	△96,400
連結会計年度中の 変動額合計	—	119,212	△873	118,338	△96,400	—	△96,400	21,938
平成21年3月31日残高	1,051,974	△1,145,729	△7,377	△101,132	7,958	2,345,816	2,353,774	2,252,642

業績ハイライト (連結)

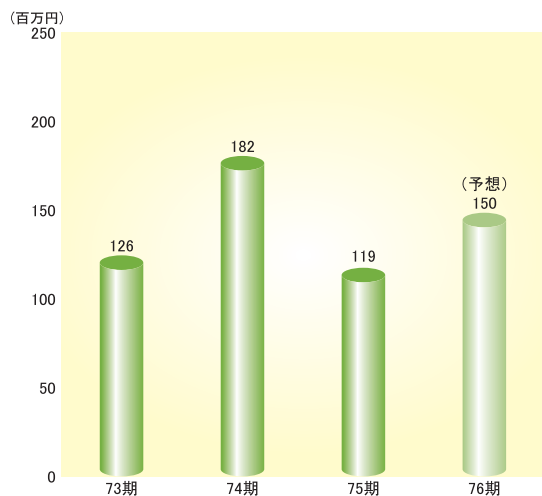
売上高



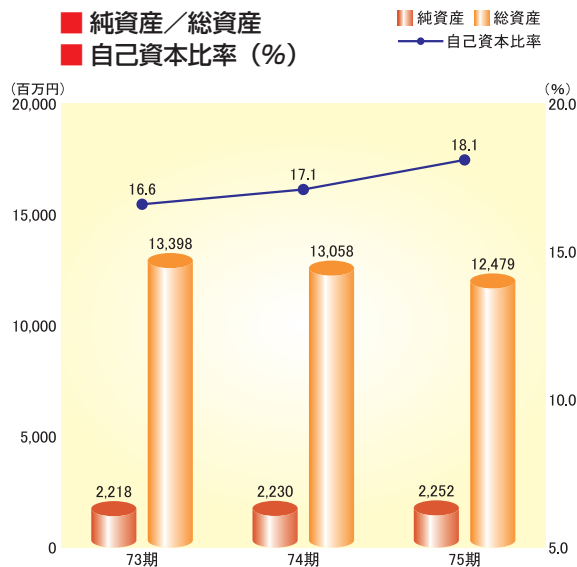
経常利益



当期純利益



純資産／総資産 自己資本比率 (%)



株式の状況

(平成21年3月31日現在)

- ① 会社が発行する株式の総数 (普通株式) 84,000,000株
 ② 発行済株式の総数 (普通株式) 21,039,480株
 ③ 株主数 1,477名
 (うち単元株数以上の株主数 991名)

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
三菱商事株式会社	2,831千株	13.45%
日糧取引先持株会社	2,177	10.35
日清製粉株式会社	1,474	7.00
オリエンタル酵母工業株式会社	1,194	5.67
日糧従業員持株会	1,163	5.53
株式会社A D E K A	1,052	5.00
株式会社北洋銀行	1,038	4.93
相馬商事株式会社	821	3.90
東京海上日動火災保険株式会社	683	3.24
株式会社みずほコーポレート銀行	448	2.13

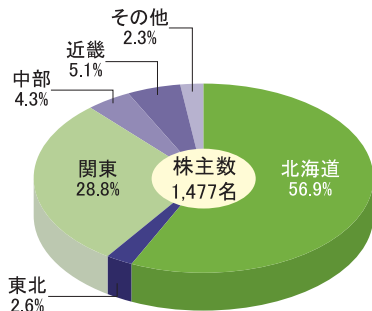
(持株数、出資比率は表示単位未満の端数切り捨て)

所有者別分布状況

区分	株主数	株主総数に対する割合	株式数	株式総数に対する割合
個人	1,328名	89.91%	7,067千株	33.59%
金融機関	6	0.40	2,744	13.04
証券会社	3	0.20	25	0.12
その他国内法人	138	9.34	11,139	52.94
外国法人	1	0.06	1	0.00
自己名義株式	1	0.06	61	0.29
合計	1,477	100.0	21,039	100.0

(表示単位未満の端数切り捨て)

株主の地域別分布状況



会社の概要

商号	日糧製パン株式会社
本店所在地	札幌市豊平区月寒東1条18丁目5番1号
設立	昭和21年5月16日(創業昭和18年)
資本金	10億5,197万円
事業内容	パン・菓子等の製造及び販売並びにその他の食料品の販売
従業員数	674名(連結)(平成21年3月31日現在)

【本社】 〒062-8510 札幌市豊平区月寒東1条18丁目5番1号 (011)851-8131

【工場・事業所】

月寒工場 〒062-8510 札幌市豊平区月寒東1条18丁目5番1号 (011)851-8131

琴似工場 〒063-0814 札幌市西区琴似4条7丁目4番7号 (011)611-8231

釧路事業所 〒084-0905 北海道釧路市鳥取南6丁目2番18号 (0154)51-2424

函館事業所 〒041-0812 北海道函館市昭和4丁目23番1号 (0138)41-2385

【支店】

旭川 〒079-8442 北海道旭川市流通団地2条1丁目11番地6 (0166)48-2679

【営業所】

帯広 〒080-2463 北海道帯広市西23条北1丁目5番7号 (0155)37-2215

北見 〒090-0837 北海道北見市中央三輪8丁目16番6号 (0157)66-5226

青森 〒038-0001 青森県青森市新田2丁目32番26号 (017)781-9009

役員氏名 (平成21年6月26日現在)

代表取締役社長	吉田勝彦	
兼取締役	吉沢武治	
取締役	青木中	
兼常務取締役	月崎暁	
取締役	毛利信作	三菱商事株式会社 農水産本部 農産ユニットマネージャー
監査役(常勤)	小山照幸	
監査役	伊東孝	弁護士 公認会計士
監査役	豊田実	日清製粉株式会社 取締役 営業本部 副本部長 兼 東京営業部部長
常務執行役員	信田紀生	事業推進責任者 兼 営業本部部長 兼 マーケティング本部部長
常務執行役員	北川由香里	経営効率化推進責任者 兼 管理本部部長 兼 経営企画室統括
執行役員	落合久仁雄	購買統括 兼 米飯事業統括
執行役員	布施幸秀	食品安全管理本部部長
執行役員	木戸博樹	製造本部部長

(注) 1. 毛利信作氏は、社外取締役であります。
 2. 伊東孝氏、豊田実氏は社外監査役であります。

しっとり＆やわらか『絹艶』 好評発売中！

『絹艶』は、2009年7月で発売4周年！

しっとり、やわらかな食感と、こだわりの味わいの『絹艶』は、発売当初より幅広い世代のお客様からご愛顧頂いております。

これからも『絹艶』は、お客様の豊かな食生活へ貢献するために、日々変わらないおいしさをお届けいたします。

2009年4月1日より
希望小売価格を
値下げいたしました。



ホームページ (<http://www.nichiryu-pan.co.jp/>) にて
アイデアレシピを公開中！

『絹艶』ラインナップ

食べきりサイズ



絹艶 (3)

トーストに



絹艶 (4)



絹艶 (5)



絹艶 (6)

サンドイッチに



絹艶 (8)

品質保証体制の強化に向けての取組み

当社では従来よりAIB (American Institute of Baking) の国際検査統合基準に則った食品安全衛生管理を進めております。2008年度は、全工場において監査を受審し、合格評価を受けております。

また、2009年4月には、月寒工場・琴似工場において、ISO9001の認証を取得いたしました。今後もお客様へ安全・安心な商品をお届けするために、品質保証体制の更なる充実・強化を図ってまいります。



ISO9001 審査登録証

北海道産の原材料を使用した商品開発を推進中！

当社は1943年の創業以来、北海道を拠点として事業を展開しています。現在、当社では北海道の豊かな素材を活用した商品開発を、より一層推し進めています。今後とも生産者と消費者の間にたち、北海道にこだわった商品開発を行うことで、北海道の活性化に繋がるよう努めてまいります。

今回は、当社の「北海道産の原材料」を生かした商品の一部をご紹介します！

● ● 十勝産バター使用 ● ●



十勝バター食パン (6)



十勝バタースティック



十勝バター
レーズンスティック

NEW

ロングセラーの十勝バタースティックをはじめとして、十勝バターの風味豊かな食事パンは、幅広い世代のお客様よりご支持を頂いている商品です。やわらかなバターの風味をお楽しみ下さい。

北海道産小麦 100% 使用

むぎたま



プレーン



ごま



レーズン



小豆

噛むほどに甘さが広がる、北海道産小麦の素朴な味わいをお楽しみ頂ける食事パンです。



北海道産米粉 100% 使用



道産米粉のふんわりカスター

今、話題の「米粉」を使用したスポンジ生地の中に、優しい甘みのカスター風味クリームが入っています。米粉の特徴である、もちりり＆しっとりとした食感をお楽しみ頂ける人気商品です。

● ● その他の道産素材 ● ●



NEW

十勝チーズの
ピザパン



NEW

北海道メロン
蒸しパン

毎月の新商品では、他にも北海道産の様々な原材料を生かした商品をお届けしております。

新商品情報は、当社ホームページからご覧頂けます。
当社ホームページ <http://www.nichiryopan.co.jp/>

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日 3月31日
そのほか臨時に必要な場合は、あらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人
兼
特別口座管理機関
みずほ信託銀行株式会社
(東京都中央区八重洲一丁目2番1号)

	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先及び 電話お問合せ先	株主様自身が口座を開設されている 各証券会社へお問合せ下さい	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 住所 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 電話番号 0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意		特別口座では、単元未満の買取以外の株式売買を行うことができません。株式売買を行う場合は、証券会社へ口座を開設する必要があります。また、株券電子化前に名義書換を失念して、お手元に他人名義の株券がある場合は至急上記の電話番号へお問合せ下さい。

公告方法 電子公告
当社ホームページに掲載 (アドレス) <http://www.nichiryopan.co.jp/ir/koukoku.html>
ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、北海道新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 札幌証券取引所 (証券コード: 2218)

株主優待 毎年3月31日(基準日)現在の株主名簿に記載された1単元(1,000株)以上を保有の株主様、1記名に対して、販売価格2,000円相当の当社製品をお送りいたします。
今年度は、7月初旬の発送を予定いたしております。

(注意事項)

*本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものです。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の実績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想を全面的に依拠して投資などの判断を行うことは差し控えて下さい。

おいしく、北海道らしく。

